

25 mm

1 行空白

若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)

『地域研究のためのフィールド活用型現地語教育』

平成 22 年度派遣報告書

——派遣国・機関、語学名、派遣期間(例：H22. 7. 1-H23. 1. 31)——

2 行空白

タイトルと小見出しはゴシック体

平成〇〇年入学（編入）

大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

博士課程〇回生

京大 葉子

1 行空白

20 mm

自身の研究テーマについて（～600 字）

『若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP)』における研修派遣者は、ITP での語学研修が終了した後に提出していただく報告書の一部を、ホームページに掲載します。その際に提出したワードファイルを、pdf ファイルに変換し、そのままホームページ上にアップします。そのため報告者の責任において、版下原稿(camera-ready manuscript)を、ワード形式のファイルで作成し提出してもらいます。執筆要項とこのレイアウト例を熟読して、完全な原稿を提出してください。

各段落の冒頭は 1 文字下げる

研修言語の概要（～200 字）

ホームページ上にアップする点、専門外の人も閲覧する可能性を考慮し、本文では平易な日本語を使用してください。原稿に誤りや冗長な部分が含まれていないか何度も推敲してください。各項目に設けられている字数の上限は厳守してください。提出期限は帰国後 1 ヶ月以内厳守となっております。尚、提出前に必ず、主指導教員に内容のチェックをしてもらって下さい。

語学研修の内容について（～600 字）

原稿サイズは A4 にします。1 ページ当たりの行数は 42 行に設定します。余白は上 25mm, 下 30mm, 左右 20mm ずつとります。余白はファイル→ページ設定→余白のタブをクリックして設定してください。行数の設定はファイル→ページ設定→文字数と行数のタブ→行数を 42 行に設定してください。タイトルは上のマージンから 2 行あけて、中央揃えで配置してください。入学年度（編入年度）はタイトルから 2 行あけて右寄せで記入してください。続けて、所属、氏名を記入する。本文中の各段落のインデントは 1 字下げとします。

研修期間中に印象に残った体験や経験（～400 字）

本文中の和文と英文はそれぞれ明朝体と Times New Roman です。本文中の小見出しはゴシック体にします。サイズはそれぞれ 10.5pt です。タイトルとサブタイトルはそれぞれ 14pt と 12pt のゴシック体です。入学（編入）年度と所属は 10.5pt の明朝体です。

読点には「、」を、句点には「。」を使用してください。カンマは、適宜全角と半角のどちらでもかまいませんが、半角の場合には続けて半角スペースを使用します。括弧に関してもカンマと同様に、適宜全角と半角のどちらでもよいですが、半角の場合にはスペースを使用するなどして見栄えをよくしてく

30 mm

ださい。数字は原則として、半角（例：平成 18 年）ですが、単独（例：平成 9 年など）で出てくる場合は全角でもかまいません。

目標の達成度や反省点について（～400 字）

写真は 3 枚以上使用してください。必要があれば、図や写真を挿入してください。図はベクトル描画形式のファイルで作成して貼り付けてください。写真の解像度を 300dpi にして貼り付けてください。写真・図・表は、本文中の適所に挿入してください。同時に、写真・図・表には必ずキャプションを併記してください。

必要に応じて、参考文献を入れる場合には「アジア・アフリカ地域研究」の引用文献要領に従ってください（<http://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/publication/method.html>）。

動画を添付する場合は、別ファイルにて、お願いします。ファイル名に、動画のタイトルをつけておいてください。時間は、1 分以内で、ファイルは、3 つまでをお願いします。

表 1. ホームページ上に記載される本文中の項目と字数制限

項目名	字数の上限
自身の研究テーマについて	600
研修言語の概要	200
語学研修の内容について	600
研修期間中に印象に残った体験や経験	400
目標の達成度や反省点について	400